

カンフォロ Canforo No. 42

企画展① 友の会共催

おくらだし 館蔵品をめぐる物語

平成23年7月30日[土] - 8月31日[水]

休館日：月曜日 ※ただし8/1(月)は休館し、翌火曜日が休館

時間 / 9:40~18:00 (入場は 17:30 まで)

館蔵品をめぐる物語より愛媛県出身の日本画家でありデザイナーであった杉浦非水とエコール・ド・パリの画家として世界に認められた藤田嗣治をめぐる物語をご紹介します。

三越の広告などで注目され、デザイナーとして第一線で活躍し始めた1921(大正10)年、杉浦非水はラクトー(現・カルビス株式会社)顧問を引き受けました。その翌年、非水は念願のヨーロッパ遊学へ出発します。このとき、顧問として託された仕事がありました。フランス、ドイツ、イタリアの3カ国でカルビスのポスター懸賞募集を行うことになり、フランスでの募集を任せられたのです。初めて訪れた国で途方にくれた非水は、在仏歴の長い日本人に相談を持ちかけますが断られます。次に頼ったのが藤田嗣治でした。その頃一躍パリ画壇の寵児となっていた藤田は、募集の公表から作品の回収の段取りまで手助けしています。

非水は1924(大正13)年1月、帰国の途につきますが、帰国前に藤田は鉛筆でスケッチした愛犬の絵を非水に贈っています。また、1929(昭和4)年に藤田が妻のユキを同伴して一時帰国した際には、絹に墨で自画像を描き、非水に贈っています。二人の交流は、カルビスのポスターをきっかけに始まり、非水が亡くなるまで続きます。

非水はこのヨーロッパ滞在中に数多くのポスター類やラベル、絵葉書などを収集しています。その中にはアルフォンス・ミュシャのポスターやアマン＝ジャンのバステル画も含まれています。

非水がコレクションした作品と藤田の作品、そして非水と藤田を結び付けたカルビス関連の作品、ヨーロッパ遊学中の非水のスケッチなど、二人の偉大な作家をめぐる物語を想像しながらご覧ください。(K.N.)

関連イベント

*8/6「館蔵品とおくらだし」及びギャラリートークについては常設展観覧券が必要です。

【土曜講座】

かたどりをしよう

- ◆日時：7/30(土) ①10:00~②14:00~
- ◆会場：南館アトリエ2
- ◆材料費：1,320円
- ◆各先着10名(要事前予約)

寄託の江戸絵画

- ◆日時：8/20(土)14:00~
- ◆会場：研修室
- ◆講師：当館学芸員

館蔵品とおくらだし

- ◆日時：8/6(土)14:00~
- ◆会場：ハイビジョン・ギャラリー、展示室
- ◆講師：当館学芸課長

美術館のニューフェイスより

- ◆日時：8/27(土)14:00~
- ◆会場：研修室
- ◆講師：当館学芸員

杉浦非水と藤田嗣治

- ◆日時：8/13(土)14:00~
- ◆会場：ハイビジョン・ギャラリー
- ◆講師：当館学芸員

ギャラリートーク おくらだし~今日の一本! トーク

- ◆日時：会期中毎週日曜日11:00~11:30
- ◆会場：企画展示室
- ◆ナビゲーター：当館作品ガイドボランティア

収蔵庫に眠る
名品を一挙公開



アルフォンス・ミュシャ《ロレンザッチョ》ポスター 1896年

蔵

愛媛県美術館友の会共催企画展
おくらだし
館蔵品をめぐる物語

TOPICS

第4期 作品ガイドボランティア研修がスタートしました!



先日のカンフォロ41号でもお知らせしましたが、愛媛県美術館では対話型鑑賞法を担う作品ガイドボランティアスタッフの募集と研修を2年毎に行っています。

そして今年も大変強力! &フレッシュ! な4名の方が加わり、去る5月28日(土)より半年間にわたる、時に涙あり? 笑いあいの研修がスタートしました!

研修は毎月2回。まず前半(9月上旬くらいまで)は、「鑑賞者」としてのトレーニングを積むため、「知識」に頼るのではなく「意識」して作品をみるための練習と、そして対話型鑑賞法の根っこになっている学習理論についての研修を行っていく予定です。

そうしてよいよ後半(9月下旬から12月上旬)では、それぞれが、対話型鑑賞の司会役、ナビゲーターとして立ち回るため、実際にトークを行う作品について「言葉で描写する」作業から始まり、作品にまつわる「情報」を得るための調査、鑑賞者の調査、そして実際の鑑賞者を想定しての「ナビゲーションの練習」と毎回実践に次ぐ実践の研修が待っています。

と、ということで、展示室へのデビューとなる来年1月下旬まで、研修生のみなさんと担当学芸員との、熱くて楽しい五人六脚が始まります。皆さん、応援をお願いします!(Y.S.)

REPORT

美術体験講座 「大地は大きな黒板だ!」

晴天が続いていた5月ですが3日の予報は雨、しかし朝から曇り空。どうにか開催?! と、予定通り美術体験講座「大地は大きな黒板だ!」の準備をしていました。しかあ〜し、開始15分前から雨粒が…。やむなく中止を決定、翌日の晴れ予報に望みをかけ、一日順延を決定しました。が、15分前となると参加予定の方々は美術館に到着されており、翌日は別の予定があるとのこと。ちょっとでもしたい! との声に押しされ、雨降りを承知で実施に踏み切りました。参加者の熱意は届かず、直ぐに雨粒は大きくなり、描いた絵が消えてしまいます。少し屋根のあるミュージアムショップ前に移動し、葉っぱを転写、徐々に大きく描いてもらい、場所いっぱい描いたところで終了。

翌日、晴天の中りベンジ。ご予約いただいていた方たちは、前日に殆ど参加されたので、当日飛び入り参加を促しました。それでも直ぐに定員30名のご参加。ありがとうございます。今度は、小さな「〇」を描き、徐々に大きく、それを顔にして、2Fの展望ロビーから眺めてみました。すると、まだまだ小さいことがわかりました。「アリエッティの世界にあったように大きく描こう!」を合言葉に思い思いのモノを大きく描くことにしました。直系30センチはあろうかというほどのイチゴ。乗れそうな自転車。大きなお家。一生懸命描いてくれて、美術館は賑やかになりました。

再度9月23日(金・祝)に開催を予定しています。幼児・小学生の方は当館HPまたはお電話にてお申し込みください。(A.T.)



わが家の3匹の猫のうち最高齢の14歳♀のとんちゃんが最近食欲がありません。病院に連れて行くと、血液検査で腎臓疾患と診断されました。点滴を受けて、お薬を飲んで、定期受診。人間顔負けです。(ん? 当たり前!)(K.N.)

開館
記念日
のお知らせ

美術館は11月27日(日)に開館13年目を迎えます。開館記念日を祝して、当日、多くの方にご来館いただけるよう、美術館では常設展示室の観覧料を無料にするほか、恒例のごとしと市(手作り品のフリーマーケット)などを計画中です。詳細はHP等でご案内いたしますので、お楽しみに。

INFORMATION

アトリエ同好会

- 活動日 / 第3日曜日・10:00~
- 場所 / アトリエ1

アトリエでは、利用者同士で情報交換し、制作の悩みを軽減したり、制作を深めたり、ともに学び合う場として同好会を作り、活動しています。今年度の種目は版画。月1回の活動日には、馴染みの利用者や作家が加わり、和気藹々とそれぞれの制作に取り組んでいます。

制作途中、どうしてよいかわからなくなったとき、メンバーの意見、感想をヒントに作品の方向を導き出します。また、一緒に新しい技法に挑戦することもあります。その制作過程では、失敗もありますが、失敗もメンバーのアドバイスや励ましで、もうひとつがんばりすることができます。

同好会に参加し、版画の楽しみを味わってみませんか? 経験問わず、版画に興味のある方、大歓迎です。

アトリエ教室

みんなで作ると楽しいよ!

アトリエの機材や道具を使った基本的な制作方法を習得する教室を開催しています。“こんなことをしてみたいけど、制作方法がわからない”というとき、まずはご相談ください。

- 【開催日】第1・3土、第2・4水曜日
- 【種目】シルクスクリーン、銅版画、織り、染め、紡ぎ、写真ほか
- 【実施までの流れ】

- 1 2週間前までに希望内容を申し出てください。
- 2 スタッフと内容・日程を相談し、決定します。
- 3 館内及びHPで開催を告知し、他の参加者を募集します。
- 4 アトリエ教室を実施します。



作品募集します! 第5回 美術館講座&アトリエ展を開催します!

平成24年2月15日(水)~19日(日)

平成21年度以降の講座受講者やアトリエ利用者の作品を展示し、当館普及事業を紹介する美術館講座&アトリエ展を開催します。

みなさまの作品を募集しますので、ご自宅に保管してある作品をぜひご出品ください。出品についての詳細は、9月中旬に館内やホームページ等でお知らせいたします。

